

◆国道349号の役割

県南地域は首都圏に近い優位性から、近年、多くの企業が進出し製造工場を設

立しており、これに伴い、原材料や製品などの貨物を輸送する大型車両の通行が増加しています。

貨物の輸送ルートとしては、常陸那珂港等から国道349号を利用するケースが増えてきており、矢祭町大字下関地内での通行台数は平成22年から平成27年の五年間で小型車が5%の増加に対し、大型車は13%も増加していきます。

国道349号は、企業の円滑な生産活動を支える上で、重要な路線となってきました。



国道349号下関工区

【福島県東白川郡矢祭町大字下関地内】

◆国道349号下関地域のいま

国道349号下関地内は国道沿いに住家が隣接し集落を形成しており、道幅は普通車がすれ違える程度しかありません。ここに大型車両の通行が増加してきたため、車両のすれ違いに危険を伴うとともに、歩道が無い歩行者の安全が確保されていません。

このため、平成30年代前半の供用開始を目指し、歩道を設けて十分な道幅を確保した新しい道路の設備を進めています。



道幅が狭く歩行空間が不十分



道幅が狭く大型車のすれ違いが困難



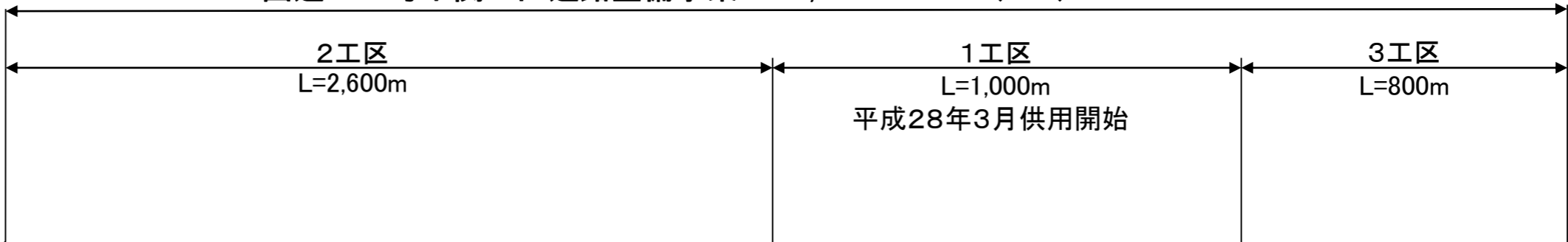
お問い合わせ先
福島県県南建設事務所 事業部 道路課
〒961-0971 白河市昭和町269番地
(電話) 0248-23-1673
(URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41330a/>

令和元年8月版

福島県県南建設事務所



国道349号下関工区道路整備事業 L=4,400m W=6.5(11.0)m



① 2工区の様子



② 2工区の様子



③ 1工区の様子